

ゴリララ日記

ケージに入るゲンタロウ



三月の寒いある日の光景
モモタロウと同じような
ポーズをとるゲンタロウ

中央グラウンドにて

室内にて

3月5日 ○月△日 トニリの住む森

モモタロウは、引越に向けての取り組みの一つ、嫌いな雨降りでもなんとかグラウンドに出るようになってきました。ゲンタロウともよく遊んでいて、とてもいい関係です。ところが困ったことが・・・それは、たまにゲンキに走り寄り噛みつくことです。ゲンキの体には傷がたたくとできています。ゲンキは、モモタロウを気にしてエサも噛んで食べているのですが、歯も悪く食べ物もあまり消化できていません。たくさん食べているのでお腹だけがポツポツ出ています。そのため「妊娠しているのですか?」と聞かれることがよくあります。が「いいえ妊娠していませんよ」とお答えしています。

ゴリラの新しい展示施設「ゴリラのおうち」樹林のすみか。この建物は、前担当者がしいグラウンドにはたくさん樹木や植物が植えられています。この建物は、前担当者がニシゴリラの生息するアフリカのガボン共和国に行き、樹上でエサを食べている様子など実際にゴリラを観察して知り得た、生態や環境を考慮して建設されています。まるで「**ゴリラの住む森**」のようなイメージを持っています。本島の森のようにはまだまだ年月はかかりますが、モモタロウ達がよりよい生活ができる、そういった環境づくりを目指していきたいと思っています。

いよいよ**新居への引越**が始まります。

ゲンタロウは移動用のケージに入るようになってきました。

初めはケージの中に大好きなドングを入れておくことで入口から中にはいって食べていたのですが、そのうちにケージの間隔から手を入れて食べることを覚えました。そこで、ケージの置き場所を変えて中に入らないうちと食べられないようになってみたのですが、エサでは入ってきません。仕方なくミルクを見せて呼び寄せるとようやく中に入りました。まだまだミルクが好きなのようです。今はこの方法でミルクを飲ませているのでゲンタロウの移動はもう大丈夫だと思います。

このまま順調に三頭とも無事に新しい施設への引越を済ませて、皆さまの前に元気な姿を見てもうえるように職員一同取り組んでいきたいと思っています。

これから引越が始まり、**新居での馴致が終わるまで、ゴリラへの関わり断たれませんが、頑張って承けたさい。**